

IVUS 基本読影

NURD

Rotating-transducer の IVUS カテーテルに特有の現象。屈曲病変などを通過した場合にはその回転が一定でなくなり歪んだ像として表現される。NURD の存在を考え造影所見と照らし合わせて狭窄を読む必要がある。

Acousticshadow

超音波が通過することができない構造物がある際には、その後方の情報が得られないために shadowing として表現される。冠状動脈内では通常石灰化が存在した際に見られる。またステントなどの人工物に対しても acousticshadowing が見られることもある。

Superficialcalcification(表在性石灰化)

IVUS から得られた断層像で、石灰化がプラークの表面(すなわち内腔側)に存在するもの。

Blood speckle

凝集した血液細胞からの超音波反射のこと。プラークの輝度によっては血管内腔との境界が不明瞭となる。

Negative contrast

プラークの輝度によっては、血管内腔を流れる血液細胞の凝集などによって内腔とプラークの境界が不明瞭となることがある。このために IVUS を施行中に生理食塩水等を冠注入し血液細胞を一時的に排除し良好な視野を確保することをネガティブコントラスト法という。これに対して造影剤を注入する場合は positive contrast 法とも呼ばれ、その際には逆に内腔が高輝度となる。

Dissection(解離)

血管壁に対して平行な血管壁の解離のこと。IVUS では新しく形成された腔内の血流をもって診断が可能である。解離でいわゆる entry が形成されることによって、血管壁内に血腫を形成することもある。

Hematoma(血腫)

血液を主体とした内容物からなる腫瘍。これまでは造影所見により PCI 後の新規病変の出現あるいは plaqueshift として捉えられていた病変の中には、intramural hematoma が含まれていたことも IVUS による検討により明らかとなってきた。